

事業所名

生活クラブあのねのお家

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

11 日

法人（事業所）理念	<p><b>子育てを一人ぼっちにしない</b></p> <p>私たちは、発達多様な子どもたちが「楽しい遊び」を通して、同じ時間・空間を共有する仲間として育ちあい、お互いを尊重する心を育みます。「子どもの権利に関する条約」及び「障がい者の権利に関する条約」に則り、固有のニーズを持ち、配慮を必要とする子ども本人の意志を尊重します。同年代の子どもとともに育つことができるよう、子どもひとり一人の状態および発達の過程・特性等に応じ、特別な配慮（合理的配慮）を提供します。地域の一員として生活し、自分らしく育つための環境を整え、インクルージョンを推進します。</p>					
支援方針	<p>●その子なりの自立に向けた発達支援 子どもが持つ力・可能性を引き出し、最大限の発達を促せるよう、年齢・成長に応じた環境構成を考えていきます。安定した食事や生活習慣を身につけ、安心できる人間関係の中で、わくわくドキドキする遊びや活動、ときには休息を提供します。</p> <p>●家族を含めたトータルな支援 子どもの育ちの場が、家庭から地域社会へシフトしていくにともなって、ご家族が子どもの発達や自立を応援するチームの一員になれるように、子どもとの距離感や関係性を変化させていくために必要な支援を共に考え、取組みます。 家族支援・きょうだい支援</p> <p>●子どものライフステージに応じた一貫した支援 福祉、医療、教育、行政の必要な関係機関が連携し、子どもの育ちに関するライフストーリーをご家族と一緒に考え、つくりあげていくお手伝いをします。</p> <p>●身近な地域で必要な支援がつながるよう、関係機関と連携します。</p>					
営業時間	10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり

標準的なプログラム		支援内容とねらい				
		健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
	<p>基本的な生活習慣 来所/帰所の支度、手洗い、荷物の整理、トイレ、着替え等</p>	<p>・手洗い、排泄、必要に応じた着替えや着脱等、清潔で健康的な生活習慣を身につける。 ※摂食、排泄、装具の着脱支援等含む。 <b>（身辺自立）（生活リズムの確立）</b></p>	<p>・生活の基本的動作に必要な身体バランスや手指の操作能力を向上させる。</p>	<p>・来所、帰所の流れを理解し、全体プログラムの中で身支度等の手順が身につく。 ・自分のロッカーに荷物を片付ける。 ・決められた場所で着替える。</p>	<p>・必要に応じて、絵カードや声掛け、実物を示すなどで行動を理解し習慣化する。 ・体調が悪いときや困った時には大人に伝える。 <b>（コミュニケーションツールの選択・適宜使用）</b></p>	<p>・来所や帰所時に挨拶をする。 ・自分と他者の荷物を区別し管理する等の習慣をつける。 ・トイレに入ったら鍵をかける。 <b>（家庭以外でのマナー）</b></p>
	<p>あつまりの会 （帰りの会） クールダウン・タイム</p>	<p>・活動を振り返りながら、今日の自己の行動や感情を調整し、自分なりに1日の疲れを癒す方法を獲得していく。 <b>（自己の心地よいクールダウンの方法や環境を知る）</b></p>	<p>・スライドや音楽、動画などの視覚・聴覚的なアプローチで気持ちの切り替えを促し、鑑賞や体操・ダンス、今月の歌などを楽しむ。 ※聴覚過敏の子への配慮を行う。</p>	<p>・様々なことに興味を広げる（月の名前、歌、季節、四季折々の行事、生き物等） ・日付、曜日、天気、友だちの名前、今日の活動の振り返り、環境の変化を意識する等生活を楽しむ習慣を持つ。 <b>（四季折々の行事に親しみ、生活環境の中での楽しみ方を知る）</b></p>	<p>・同じ情報を他児と共有するなかで、他者からの発信や意見に注目し応答したり、自分の考えを表出する。 <b>（他者との心地良いコミュニケーションの在り方を身につける）</b></p>	<p>・他児と同じ空間、時間、情報を共有し、共感する経験を重ねながら仲間意識を育む。 ・自分や他者のリクエストと一緒に楽しむ経験を積む。 ・司会や連絡袋配布、挨拶など集団生活の中での役割を担う。 <b>（共同生活の中での行動と役割を知る）</b> <b>（仲間と楽しい時間を共有する集団活動への参加）</b></p>

本人支援	“あのねカフェ” おやつを選択制 買物体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べること（栄養状態）が自分の精神状態に影響していることを体験的に理解していく。</li> <li>・手を洗う習慣を身につける。</li> </ul> <p>（体調管理・衛生管理を意識づける）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・袋や蓋を開ける等の指先の力をつける。</li> </ul> <p>（巧緻性を高める）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた金額内で食べたいおやつを選ぶ。</li> <li>・簡単な計算に慣れ、金銭感覚を身につける。</li> <li>・使ったお皿を片付ける。</li> <li>・プラスチックごみの分別。</li> </ul> <p>（自己選択・金銭感覚）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体調に意識を向けて、食べたい物を選ぶ、食べる時間を大人に伝える。</li> <li>・計算など困ったときは質問する。</li> </ul> <p>（意思の表出・援助要求）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のマナーを身につける。</li> <li>・仲間と一緒に食べることを楽しむ。</li> </ul> <p>（共食と共感から連帯感を育む）</p>
	おやつ作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じ、楽しむ。</li> <li>・様々な味を体験する。</li> <li>・食事作りの前段階として、調理行程や道具の扱いに慣れていく。</li> </ul> <p>（食育・手軽に調理を楽しむ、身近なものにすることで、自立活動につなげる）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まぜる、焼く、切る、塗る等様々な手の操作を体験する。</li> <li>・食器や道具を注意しながら丁寧に扱う。</li> <li>・嫌いと思っていた物にも挑戦してみる。</li> </ul> <p>※偏食や触覚過敏への配慮。 （手指の動作性を高める。器具の扱いに慣れる）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明映像を見て、材料、分量、全体の手順を理解し、完成形をイメージしながら実行する。</li> <li>・おやつ由来や素材に興味をもつ。</li> <li>・調理器具の危険性を知り、丁寧に操作することや調理道具の扱い方を知る。</li> </ul> <p>（小さな危険も察知する力）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作り方を聞いて質問したり、自分の好き嫌いを大人に伝えることができる。</li> <li>・わからない時は尋ねる。</li> </ul> <p>（援助要求・意志の表出）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のマナーを身につける</li> <li>・皆で作る、協力する、一緒に食べることを楽しみながら、仲間意識を育む。</li> <li>・自分の役割を果たす。</li> <li>・他児と材料や道具等を共有し、順番を待つ。</li> </ul> <p>（共食と共感から連帯感を育む・自己有用感・自己効力感を高める）</p>
	工作 （ものづくり） （創作活動）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な経験を通して自身の生活を豊かに楽しむための趣味的な活動につながるものを見つけしていく。</li> <li>・創造性・想像性を高めながら、表現する楽しさを体感する。</li> </ul> <p>（生活をより豊かに楽しむために、創造的思考を育む）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにある道具を使う。</li> <li>・手指の巧緻性を高める。</li> </ul> <p>（自己表現・自己肯定感を高める）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作り方（手順）の説明を集中して聞く力、見本や実物を観察する力を高め、行程を理解し取り組む。</li> <li>・最後までやり遂げる遂行能力を高める。</li> </ul> <p>（自己肯定感を高める）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困った時に助けを求める。</li> <li>・自身の発想（やりたいこと）に必要な道具や材料を要求する。</li> </ul> <p>（援助要求・意志の表出）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他児と材料や道具等を共有し、順番を待つ。</li> <li>・施設の企画行事に必要な製作と一緒に考えたり参加する。</li> <li>・集団工作では、自分の役割を果たしたり、他児と協力して取り組む。</li> </ul> <p>（連帯感・自己有用感・自己効力感を高める）</p>
	図書館・児童館・公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中での生活を意識しながら、地域の人や同年代の子どもたちと関わって過ごす経験を積む。</li> </ul> <p>（地域の中にナチュラルサポートを広げ、インクルージョンを推進する）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の道具や物品等を利用する。</li> </ul> <p>（様々な機能を高める）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設のルールを守ったり目的に合った行動を知る</li> </ul> <p>（子ども同士で安全に過ごせる場を経験する）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない時には公共施設の職員に尋ねる。</li> </ul> <p>（援助要求・意志の表出）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用手続き・ルール・マナーを知る</li> <li>・地域の人や子どもたちと交流しながら適切な距離感が保てるようになる。</li> </ul> <p>（施設の目的に応じたルールやマナーの違い・他者との距離感を意識する）</p>
	散歩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中での生活を意識しながら、地域の人や同年代の子どもたちと関わって過ごす経験を積む。</li> <li>・自然に親しむ。</li> <li>・季節を感じる。</li> <li>・信号や標識に従う。</li> <li>・安全な歩行</li> </ul> <p>（地域の中にナチュラルサポートを広げ、インクルージョンを推進する）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力をつける。</li> <li>・運動能力を高める</li> </ul> <p>（ストレス発散）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号や標識の意味、交通ルールを知って守り、安全に移動できる。</li> <li>・安全な遊び方を知る。</li> <li>・チャレンジ精神を養う。</li> <li>・地域の中での危険な場所を知る。</li> <li>・集団行動を身につける。</li> <li>・時間を意識しながら、守って帰ることができる。</li> </ul> <p>（子ども同士で安全に遊べるようになる）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの中や移動でのやりとりを楽しむ。</li> <li>・危険を感じたときには周囲に助けを求める。</li> </ul> <p>（困った時に助けを求める）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と楽しむ。</li> <li>・地域の人や子どもたちと交流する。</li> <li>・地域の人に見守られて育つ経験を広げる。</li> </ul> <p>（公道でのマナーや交通ルールを守る）</p>

	<p>室内遊び (自由/設定) ルール遊び、ゲーム、設定遊び、ごっこ遊び、昔遊び、創作活動、読書、運動(サーキット、トランポリン、バランスボール、的あて、綱引き…)</p>	<p>・様々な遊びを経験する中で、自分が楽しめる余暇活動を確立する。 <b>(自分の生活を楽しみ、リラックスする方法を獲得する)</b></p>	<p>・遊びに必要な運動能力を身につける。 ・好きな活動を選択し、時間感覚を意識して活動できるようになる。 <b>(様々な機能を高める)</b></p>	<p>・子ども発信の遊びを他者に広げる。 ・子ども自身が楽しめる遊びを提案し、実現・実行していく力を獲得する。 ・勝ち負け、順番等ゲームに伴うルールを理解する。 <b>(提案能力・説明能力・自己選択・自己決定の尊重と他者との調整や折り合いの付け方を体験する)</b></p>	<p>・大人と1対1のやりとりから子ども同士のコミュニケーションへ広げる。 ・それぞれの子どもに応じたコミュニケーション手段を身につける(身振り、絵、文字、カード等) ・困った時に大人に質問や援助要求ができる。 <b>(他者との心地良いコミュニケーションの在り方を身につける)</b></p>	<p>・仲間とのつながり、コミュニケーションを広げる。 ・ゲーム等を通してルールを理解し守る。 ・勝負に対する感情の自己コントロールを促す。 <b>(感情のコントロール・他者の気持ちを理解し、状況に応じて自分の行動を調整し行動する)</b></p>
	<p>リラックス</p>	<p>・生活の中で、1日の疲れを癒す時間をつくる。 <b>(自己認識・緊張とストレスに対処する力・感情を制御する力・自分自身が落ち着ける方法を知る)</b></p>	<p>・マッサージ等人に触れてもらうことで身体図式を高める。 ・感情を安定させる。</p>	<p>・自分自身の特性を知る。 ・感情が高揚してくる時を、自分で認識できるようになる。 ・自分が落ち着ける方法を探り、見つける。 <b>(行動抑制に向けた自己コントロール。自分の安心できる環境が分かる)</b></p>	<p>・心地よい感覚の中で他者とのやりとりを楽しむ。 ・大人に自分のリラックス方法を要求できる。 <b>(自分から援助を求められることができる)</b></p>	<p>・高揚を抑えるために場所を選ぶことができる。 ・マッサージ等を通して人との接し方を学ぶ。</p>
	<p>子どもの権利学習</p>	<p>・自分の悩みや困りごとを相談できる人を見つける。 ・守られて安心して生活できる。 ・人権感覚を身につける。 <b>(信頼と安心できる生活・人権尊重)</b></p>		<p>・こども基本法について知る。 ・他者の気持ちを理解し、自身の接し方を振り返ることができるようになる。 ・全ての人に守られるべき権利があることを知る。 ・いじめ・虐待の禁止 <b>(安心して育つ権利・守られる権利)</b></p>	<p>・自分の意見を表出することや、相手の意見を聞くことに慣れる。 ・自分と違う意見を持っている人もいることを受け入れられるようになる。 <b>(意見を言う権利・自己選択自己決定)</b></p>	<p>・他者に対して丁寧に敬意をもって接する態度を身につける。 ・他者にも権利があることを意識する <b>(他者の尊重)</b></p>
	<p>家族支援</p>	<p>・事業所内での個別相談やグループ相談 ・オンライン相談 ・家庭訪問による相談 ・きょうだいや家族に関する相談 ・保護者会</p> <p>ご家庭や学校等での様子を伺いながら、困っていることについての相談を受けとめ、サポートの提案や助言を行います。 お子様本人に限らず、きょうだい・家族の困りごとに対して相談をお受けし、より良いサポートを一緒に考えたり、提案・助言を行います。</p>		<p>移行支援</p>	<p>・進学や就労支援等の関係機関との連携、情報提供等を行います。 地域資源の利用 (児童館、図書館、公園等)</p> <p>ライフステージに応じて必要な支援がつながるよう、関係機関と連携します。 積極的に地域資源を利用し、地域の中で安全に過ごせる力が獲得できるように段階的に支援していきます。</p>	

<p>地域支援・地域連携</p>	<p><b>施設開放・地域交流企画</b> 子どもたちの作品展と同時開催 家族・きょうだいも一緒に行事を楽しみます。</p> <p>【春：桜まつり】 東京おもちゃ美術館 協力 *東京おもちゃ美術館や地域活動団体の協力で親子の遊び場を提供します。 *地域で活動している市民団体と連携協力して開催します。</p> <p>【ゆめ水族園】 プロジェクション・マッピング (EPSON協力 ファンタスカー) *心地よい映像や音楽に包まれた、リラックスできる空間を提供します。</p> <p>【秋：稲城アート展】 出展 *作品出展 子どもたちと職員が協同制作するプロセスを大事にしながら、仲間意識を育みます。 あのねのお家の子どもたちを知っていただき、地域の中にナチュラルサポートを広げ、インクルージョンを推進します。 地域の方々と助けあえる関係性を醸成していきます。</p>	<p>職員の質の向上</p> <p>【全体研修】 (定例 (月2～3回全体ミーティング等で実施)) ①テーマ別研修： 子ども基本法、性教育、不登校、感覚統合、行動療法、静的弛緩誘導法、ペアトレ等 ②ケース検討 ③委員会別研修：虐待防止・身体拘束適正化・苦情解決、感染症予防、事故安全、(事故対応/安全運転)、BCP(業務継続訓練) ④緊急時対応訓練：防災、防犯、救急、嘔吐、交通事故等(児童と一緒に実施)、救急救命講習</p> <p>【個別研修】 (個人の経験・知識・課題に応じた選択研修) 【オンライン動画】 ①発達障害ポータルサイト研修動画 ②発達障害教育推進センター研修動画 ③星山麻木先生監修パペット動画 ④東京都福祉局主催研修 発達障害者相談支援研修、スキルアップ研修、医療機関等向け講習、</p> <p>【専門研修】 (専門性に必要な選択研修) ・強度行動障害 ・虐待防止/権利擁護 ・経営管理 ・専門分野 (PT, OT, ST等)</p>
------------------	--	---

主な行事等	支援内容とねらい				
	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
<p>三沢川散策 春：花見 夏：アイス買物 秋：ハロウィン 冬：初詣</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四季折々の自然や生き物に親しむ。</li> <li>季節ごとの行事に親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の状況を見ながら安全に移動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な植物や生き物について知る。季節ごとの変化に気づく。</li> <li>行事の由来を知る。</li> <li>(地域の環境や位置関係、方向感覚、距離感等が体感的にわかる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶や買い物などに必要なやりとりがわかる。</li> <li>(効果的なコミュニケーション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域や店の人と交流する。</li> <li>(対人関係の構築と維持する力)</li> </ul>
<p>夏季室内運動競技大会 アノネピック</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己記録更新による自信/達成感をえる。</li> <li>チャレンジ精神を養う。</li> <li>スポーツに親しみ世界を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バランスをとる、リズムに合わせて動く、持久力をつける、力いっぱい動く等様々な競技にチャレンジする。</li> <li>(競技の種別に合わせて、力のコントロールを身につける)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際のオリンピック競技を動画等で観て、様々な運動に関心をもって取り組めるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>競技の名前や動作に伴うことば、記録の回数やタイム等を覚えて伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他児のチャレンジを見て真似たり、応援したりする。</li> <li>仲間とワクワク、ドキドキ体験を楽しむ。</li> <li>集団ゲームで協力したり、助け合う。</li> <li>(共同の経験・共感する力・協力と連帯)</li> </ul>

<p>季節イベント 正月、節分 ひな祭り、こどもの日 七夕、栗拾い 芋ほり、ハロウィン クリスマス 大掃除</p>	<p>・四季折々の行事に親しむ。 <b>(創造的思考を高める)</b></p>	<p>・習字をする、栗を拾う、芋を掘る、 雑巾がけ等日常にない道具を使い、動作 を体験する。</p>	<p>・行事についての歴史、文化等に興味 をもつ。 ・ルールや説明を聞いて行動する。</p>	<p>・様々な行事に伴うことばを理解す る。 ・その都度お世話になる地域の人に挨拶 をする。 <b>(効果的なコミュニケーション)</b></p>	<p>・文化を体感する。 ・仲間と同じ体験を楽しむ ・地域の人との交流 ・適切な挨拶ができる <b>(共同の経験・対人関係の構築と維持する力)</b></p>
<p>子ども主催行事 子ども会議 お楽しみ会 ※主に長期休み、イベント等の 企画</p>	<p>・子ども主体で意見を出し合い、意見 の相違からやりたいことを決めていく プロセスを繰り返し経験していく。 <b>(問題解決に向けて考える力)</b></p>		<p>・話し合っで決められた選択肢の中 で、自分の参加を選択することができる。 <b>(感情を制御する力)</b></p>	<p>・相手の話を聞く、質問に答える、自 分のやりたいことを伝える。 ・他者の意見を聞いて、交渉する。 <b>(意見表明・意思決定・効果的なコ ミュニケーション)</b></p>	<p>・高学年が皆をまとめる役割を担 う。 ・他者の意見も尊重する。 ・意見の相違に対して折り合いを付 けていく。 <b>(意見の尊重・共感する力・問題解 決力・対人関係の構築と維持する 力)</b></p>
<p>社会見学 JAXA, 下水処理場, クリクラ、日 野オートプラザ等</p>	<p>・様々なことに興味をもつ。 ・知識を広げる。 <b>(実際に見聞きし、体験することで 「知る(学ぶ)」ことを楽しむ)</b></p>		<p>・初めての場所でも事前学習に参加 し、安心して参加できるようになる。 ・スケジュールに従って行動する。</p>	<p>・説明者の話を聞いたり、疑問点を整 理して質問するやりとりを経験する。 <b>(効果的なコミュニケーション)</b></p>	<p>・楽しみながら集団行動を経験す る。 ・各施設での約束事を守る。 <b>(公共でのマナー)</b></p>
<p>緊急時対応訓練 暗闇体験 防災訓練 防犯(不審者対応)訓練 救急時対応訓練 嘔吐時対応訓練 事故対応訓練</p>	<p>・危機を生きぬく力を養う。 <b>(緊張とストレスに対処する力)</b></p>		<p>・繰り返し経験しておくことで万が一 の時も慌てずに行動できる。 <b>(問題解決に向けて考え行動する力)</b></p>		<p>・周囲の人の動きを見て自分はどう 動くのかを知る。 <b>(感情を制御する力)</b></p>